

奥三ノ沢は一見の価値あり

中央アルプス 滑川奥三ノ沢アイスクライミング

笹川

【日時】2008年3月8日～3月9日

【メンバー】小暮 (L)、藤岡、笹川

2004年4月に三ノ沢岳に行ったときに見た二ノ沢支流のブルーアイスがとてもきれいで、きっと奥三ノ沢の氷瀑も素晴らしいに違いないと思い、何年も行きたいと考えていた。

しかし、渡渉やラッセルで苦労した記録が多く3日分の荷物を背負っての登攀に気持ちが萎えてなかなか実行できずにいたところ、ロープウェーを使えば2日で行ける事が分かり、夏から予定していた。

当初3月1日～2日で行く予定だったが、工事の為ロープウェーが休業中。少し遅いが今年はどこも氷の発達が良いので可能だと思い、翌週に行くこととなった。

■3月8日 快晴

ロープウェーまでは観光気分です冬の中央アルプスを楽しむ。さすがに、アイスクライミングに行きそうな人はいない。極楽平まではワカンがないため、ラッセルが辛いですが、極楽平を過ぎると一転してアイゼンがよく効く。

目指す最低コルは思っていたより遠かったが、三ノ沢岳までのトレースがない分、気持ちよい稜線歩きが続く。五ノ沢を過ぎ、四ノ沢からクライムダウンで降りる。最初はカリカリの雪面で気が抜けない。しばらく行くと雪が柔らかくなり、雪崩に注意しながらズンズンと進む。

やがてF2が出てくるが、ここは右岸の灌木伝いに簡単に降りられる。F2はまだ完全凍結状態。

すぐにF1となり、懸垂2回(50M+30M)で降りたが、下のほうには水流が出ている。出合まで降りてF1を見上げるとその大きさに驚く。もう少し早い時期なら、四ノ沢を登っても楽しいかも。

本流からは宝剣岳の眺めが素晴らしい。雪が腐っているので、右岸左岸と渡り歩くのが面倒だ。

四ノ沢から20分程で奥三ノ沢に到着。沢幅いっぱい100Mの氷瀑がかかっている。しばらく、氷の美しさにうっとりしていたい。一番難しい所でもIV級程でどこからでも登れる。ここは小暮さんリード、泊まりの荷物を背負っているのに一番難しい箇所に取り付く。

40M程で灌木に到着。続いて藤岡さん、最後に笹川がフォローで登る。リードのために小暮さんか



奥三ノ沢 F1

ら受け取ったテントが肩にずり下りくる。また15M程登ると、ふくらはぎがジンジンしてくる。自分だけかと思っただが、みんなふくらはぎに荷物の重みを感じていたようだ。

すぐにF2となる。ここは藤岡さんリードで慎重に登っていくが、良い支点が取れないようで少し時間がかかってしまった。ガイドによるとF2の方が難しいようだが、今回はⅢ級程度だった。ナメ滝だが60Mもあるので、またふくらはぎがパンパンだ。

なんとか日の入り前にF2を登りきり、すぐに天場を探す。右岸の岩の基部にテントを張ることにした。今回は軽量化のため、つまみは作らないことにしていたが、二人が当たり前のようにつまみを作り始めたのには驚いた。

■3月9日 快晴

寒くて眠れないかもと心配していたが、前日の駐車場での仮眠よりもずっと暖かかった。朝からラッセルが続き、天場のすぐ上で雄滝・雌滝の二俣となる。雄滝は夏場50M程の滝のようだが、今回は雪に埋まり、5M程のナメ滝でフリーで抜ける。雌滝も3M程。

その後も、滝が全て埋まっており、単なるラッセルになってしまう。もう少し氷が出ていると思っていたが、残念だ。

三俣を登っていたところ、雪面にヒビが入る音が聞こえたので、すぐに右岸の方へ逃げる。斜面を掘り下げてみると弱層が2箇所ほどあった。

山頂から続く稜線が目の前に見えるが、なかなか山頂に近づけない。遠目に見たより斜面の傾斜が強くなる。更に雪面が硬くなり、アックスとアイゼンの爪だけで登り詰める。休むに休めず、また今日もふくらはぎがパンパンだ。

ほぼ山頂に出て、360°の展望を楽しんだ後、ロープウェイを目指す。12:55のロープウェイに乗る事を目標にしていたが、ふくらはぎの疲れのためかダラダラと歩いてしまい、到着駅に着いた時にちょうどロープウェイが出てしまった。仕方なく、今回の山行の余韻に浸りながら、ロープウェイを待つ。



奥三ノ沢 F2



三ノ沢岳 山頂直下

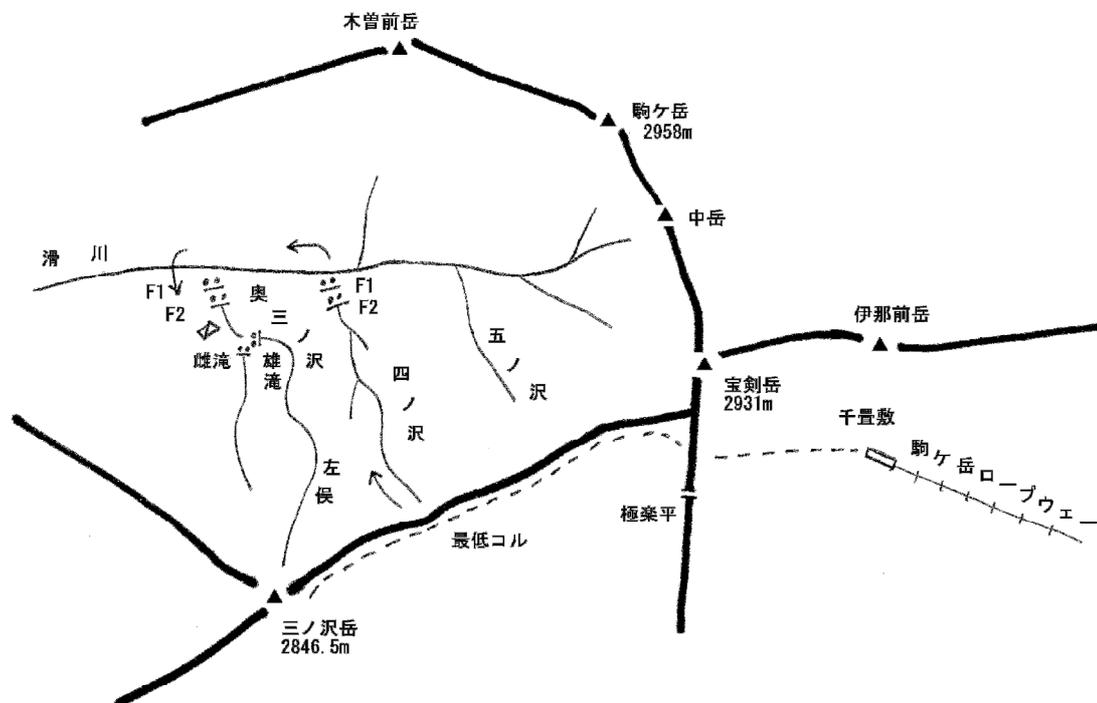
アイスクライミングとしては物足りないかもしれないが、奥三ノ沢の滝の美しさは予想以上だった。また来年もアイスクライミングで山頂を目指すルートに挑戦したい。



三ノ沢岳 山頂にて

【地形図】木曾駒ヶ岳

【行程】 3/8 ロープウェー(9:40)～極楽平(10:30)～最低コル(11:30)～二俣(12:20)
 ～四ノ沢出合(13:00)～奥三ノ沢出合(13:40)～F1上(15:20)～F2上(16:15)～C1(17:00)
 3/9 C1(6:30)～雄滝(7:50)～三ノ沢岳(10:40)～極楽平(12:35)～ロープウェー(12:55)



奥三ノ沢 アイスクライミング概念図